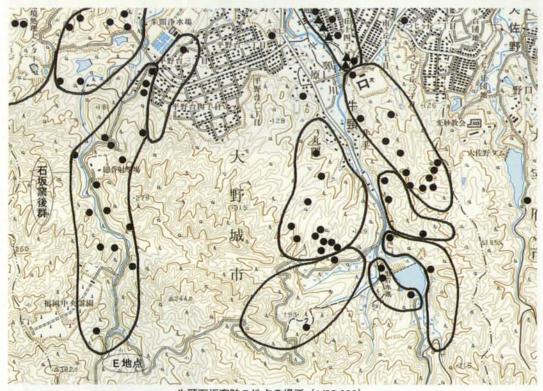
大野城市歴史資料展示室 解説シート 考古No.22

牛頸石坂窯跡E地点

大野城市教育委員会



牛頸石坂窯跡 E 地点の場所 (1/25,000)

牛頸石坂窯跡群は、上大利から牛頸にかけて広がる牛頸窯跡群の中の小グループの一つの石坂支群をさします。石坂窯跡群は、福岡中央霊園にのぼっていく道の周りに広がり、窯はその道の両側に点在しています。 E地点は春日市野外活動場を建設する際に見つかった窯跡で、石坂窯跡群の中でも最も山奥にあります。



1は発掘調査当時の写真です。山 の中腹に窯が3基並んで見つかりま した。左から2号窯跡、3号窯跡、 1号窯跡です。3号窯跡の灰原から はたくさんの須恵器や土師器・黒色 土器 (土器の表面を黒く燻した土 器)・瓦が出土しました。この窯跡 は、今まで9世紀代の窯跡が見つかっていない牛頸窯跡群の中で最も新 しい時期のものでした。







2は1号窯跡です。床面が平らな窯(平窯)で、中は真っ黒になっています。中に薪をつめて焼いて炭をつくる「炭窯」です。出土した土師器から13世紀中ごろ(鎌倉時代)のものと思われます。

3は2号窯跡です。床面は傾斜しており、中には石が積まれていました。これは窯を壊した後に

積んだものです。 4 は 3 号窯跡です。窯の幅が広く、最も広いところで約 2 m ありました。この窯の灰原からは5 のような須恵器大甕が出土しました。この大甕は 9 世紀中ごろ(平安時代)のもので、3 号窯跡は大甕を焼くための窯であったようです。これまでの発掘調査の結果、牛頸窯跡群では 9 世紀代の窯跡は見つかっておらず、8 世紀終わりごろには窯が作られなくなると思われていましたが、この調査でその説が見直されました。

また、3号窯跡の灰原からは5のような須恵器大甕に まじってたくさんの土師器・黒色土器が出土しました。 普通、土師器や黒色土器を焼く時には窯を使いません。

また大変な山奥にある窯まで土師器 などをわざわざ持ってくることはな いでしょうから、もしかすると同じ 窯を使って須恵器や土師器などを焼 き分けたのかもしれません。

窯跡は、6のように春日市のご好 意によって野外活動場内に保存され ています。ぜひ、一度ご覧ください。

